

カスタムCAR

ウデ利きハンドメイダーが作る
衝撃のアンフィニッシュ



強烈ボディワークのハードモッズから
最新パーツ情報までをギュッと凝縮

軽バン軽トラ

虎の巻

- #01 アツと驚く大変身! なりきりまSHOW TIME
- #02 切る! 延ばす! 魅惑のラディカルマシンズ
- #03 最新パーツでアップデート!
- #04 EVERY♥GIRLS COLLECTION
- #05 カッ飛び軽トラックの作り方

06

JUN.2025

COVERCAR
NATS MINIRANGER



HOT TOPICS

200系ハイエースカスタムの道しるべ

TYPE200 SYNDICATE

最新アイテムにズームイン

スピーカー通信



箱車&商用車の祭典
2025ツアーが開幕!



毎日更新!



custom car WEB



ERGOSTER

自然にフィットするボディーライン、
ローポジション、フラット座面、エッジの効いたショルダー、
全てをマイルドに仕上げて、
心地良さを追求したスポーツモデル、
エルゴスター。

¥148,500~¥178,200(税込)

- 高級スウェード調生地
(サイド部はPVCレザー、センター部はメッシュ地、
グラデーションロゴBEのセンター部は専用生地)/
タフレザーブラック:PVCレザー
- 全5色(グラデーションロゴBE/ブラックBE/
チャコールグレーBE/レッドBE/タフレザーブラック)
- 難燃生地 ●シートヒーター搭載モデル有り(12V専用)
- 保安基準適合モデル ●日本製
- 着座センサー搭載(座面部) ※車種によっては、対応できない場合があります。
- 重量:本体/約14.8kg(タフレザーブラックは約16.0kg)、
別売アームレスト1つ/約1.0kg、
写真のモデル/約18.0kg(参考数値)

抗菌(除菌・脱臭)対応の安心仕様 SEAT HEATER対応 車検もOK!

写真のモデルは、
ERGOSTER・タフレザーブラック
(E64TSR)+別売アームレスト・
タフレザーブラック
(右用:P51ARR、左用:P52ARR)です。

ショルダー幅、座面の厚みを抑え、
室内空間の制約が大きい車種にも
装着可能な形状と、アームレスト(別売)の装着を
可能とした構造を採用する
スマートコンフォートモデル、ディーゴⅢライツ・クルーズ。

DIGOⅢ LIGHT CRUZ

¥129,800~¥159,500(税込)

- 高級スウェード調生地(グラデーションロゴBEのセンター部は専用生地)
- 全4色(グラデーションロゴBE/ブラックBE/チャコールグレーBE/レッドBE)
- 難燃生地 ●シートヒーター搭載モデル有り(12V専用)
- 保安基準適合モデル
- 日本製
- 着座センサー搭載(座面部)
※車種によっては、対応できない場合があります。
- 重量:本体/約15.5kg、
別売アームレスト1つ/約1.0kg、
写真のモデル/約17.5kg(参考数値)

抗菌(除菌・脱臭)対応の安心仕様
SEAT HEATER対応
車検もOK!



写真のモデルは、
DIGOⅢ LIGHT CRUZ・グラデーションロゴBE(D44GSN)+
別売アームレスト・ブラックBE
(右用:P51AAN、左用:P52AAN)です。

BRIDE SUPER SEAT
BRIDE CO.,LTD.

ブリッド株式会社

〒476-0015 愛知県東海市東海町1丁目11番1号 電話:(052)689-2611 ファクス:(052)689-2612
※掲載製品の仕様・デザイン・価格等の変更及び、販売終了を予告なく行う場合がありますので、予めご了承ください。

トラック特有のドライビングポジションに
最適化した座面設計により、
ロングドライブの
負担を軽減するトラック専用シート、
ザオウ。

ZAOU

¥154,000~¥178,200(税込)

- スウェード調ブラック:
高級スウェード調生地(一部PVCレザー)/
タフレザーブラック:PVCレザー
- 全2色(スウェード調ブラック/タフレザーブラック)
- 難燃生地
- シートヒーター搭載モデル有り(12V専用)
- 保安基準適合モデル ●日本製
- 着座センサー搭載(座面部)
※車種によっては、対応できない場合があります。
- 重量:本体/約14.8kg(タフレザーブラックは約16.0kg)、
別売アームレスト1つ/約1.0kg、
写真のモデル/約18.0kg(参考数値)

抗菌(除菌・脱臭)対応の安心仕様
SEAT HEATER対応
車検もOK!



写真のモデルは、
ZAOU・タフレザーブラック(L21TSR)+
別売アームレスト・タフレザーブラック(ショート)
(右用:P53ARR、左用:P54ARR)です。

ブリッド&エディルの最新情報は、こちら!
<http://bride-jp.com>





座面をいかに上げずに
快適に座れるかがポイント



EVERY

ディーゴⅢライツ・クルーズ

- 価格(税込): 12万9800~15万9500円
- カラー: グラデーションロゴBE、ブラックBE、チャコールグレーBE、レッドBE
- 別売り固定式アームレスト: 9900円(左右用あり)
- 別売り有段式アームレスト: 2万2000円(左右用あり)

軽バンの一番人気となるエブリイは、エンジンがフロントシート下にあるため、着座位置が極端に上がらないように座面の薄い「ディーゴⅢライツ」が最適。同様にユーロスターⅡより着座位置が1cm低い「エルゴスター」も選択肢として入れておきたい。



③ショルダーサポートと座面を中心に、全体の厚みを抑えている。バックレストは緩やかに寝るストレート形状で、低めのドライビングポジションを確保。④仕事で使う際に乗降シーンが多いことを考慮し、座面をフラットに近い形状にしているのがポイント。



既存モデルのいいところ取りをした最新モデル!

HIJET TRUCK Jumbo

エルゴスター

- 価格(税込): 14万8500~17万8200円
- カラー: グラデーションロゴBE、ブラックBE、チャコールグレーBE、レッドBE、タフレーザーブラック
- 別売り固定式アームレスト: 9900円(左右用あり)
- 別売り有段式アームレスト: 2万2000円(左右用あり)

ハイゼットトラックジャンボのように、シートがリクライニングできるスペースがある軽トラなら装着が可能。軽トラはシート下にエンジンが搭載されているので、座面の薄い最新のエルゴスターやディーゴⅢをチョイスするのが正解!



⑤エルゴスターのデザインの特徴は、なんと言ってもエッジの効いたショルダーサポート。ハイゼットトラックジャンボのBピラーに干渉することはないので安心。⑥サイドサポートを浅くしてフラットな座面設計とすることで、エンジンフードによって着座位置が上がる軽トラでも乗降しやすい。⑦ハイゼットトラックジャンボのキャabinはクリアランスを確保できるため、スライドもリクライニングも自在!



好きな位置で止められる
アームレストが新登場!!

運転時にあるとないのでは疲労度が違うアームレスト。ブリッドでは、ほとんどのセミバケシートに装着が可能で、2種類用意。新作の「有段式アームレスト」は、好みの角度でアームレストを固定できるので、座高や体格によって個人差のあるペスポジを確保できるぞ!

左右で違うモデルを装着するのもアリ!!

HIJET CARGO

エルゴスター+ディーゴⅢライツ・クルーズ

「エルゴスター」と「ディーゴⅢ」をコンビでハイゼットカーゴに装着するというアレンジもOK。両モデルとも座面は薄いですが、ウレタン素材にこだわり、S字型のバックレストを採用しているので、座り心地はバツグンだ!



BRIDE

問>> ブリッド ☎052-689-2611 <https://bride-jp.com>

ユーロスターⅡ・クルーズ

- 価格(税込): 14万800~17万500円
- カラー: グラデーションロゴBE、ブラックBE、チャコールグレーBE、レッドBE
- 別売り固定式アームレスト: 9900円(左右用あり)
- 別売り有段式アームレスト: 2万2000円(左右用あり)

N-VAN

ホンダの人気Nシリーズの軽バンモデル。助手席側Bピラーレス、助手席のダイブダウンが特徴だが、犠牲になるのがシートの性能。例えるなら観光バスの補助椅子のようで、チープさ全開。人を乗せるなら交換必須だ!



最新パーツでアップデート!! SPORTS SEAT

インテリアカスタムの中で、最後の砦的存在となっているのがシート。手軽に交換できるものじゃないから、躊躇する個所だが、軽バン&軽トラオーナーなら真っ先に取り組みたいセクションだ。なんせ、純正シートのチープさといったら……。というワケで、軽バン&軽トラにピッタリのシートを探せ! PHOTO/芝修(オマドーン)



前方スライド重視でN-VANの特性を生かす!



運転席と助手席は、前後位置&高さをオフセット。運転席はステアリングに足が当たらないように、着座位置を低く設定している。エンジンがボンネット内にあるN-VANだからこそ、座面が厚めのユーロスターⅡの装着が可能なのだ。



↑スポーツドライビングにも対応するユーロスターⅡなので、腰のホールド感はバツグン。高密度ウレタンが面圧を均等にして体圧を分散させるため、長距離ドライブでも疲れにくい。

→フロントシートを交換しても、市販のベッドマットを難く敷くことができる。車中泊もまったく問題ナシ!!

①コレが問題のダイブダウン機能付きの純正助手席シート。スライドもリクライニングもしない。とても人が長時間乗れるようなシモノではない……。②専用のシートレールで前後スライドも自由自在。前方にスライドさせれば、セカンドシートはダイブダウンが可能。リアキャbinはN-VANのウリであるフラットな荷室を確保できる。



劣悪環境のN-VANの助手席シートを快適にする!

純正助手席シートはコレ!

いまや仕事クルマの枠を超越し、一般ユーザーの所有率が激増している軽バン軽トラだけに、カスタムは必須項目。外装はエアロパーツなどを装着すれば、それなりの見た目になるのだが、絶望的なのがインテリア。その最たる個所がシートだ。薄い座面にヘッドレスト一体型など、乗用車やミニバンからの乗り換え組には耐え難いチープさなのだ。そこで、シート交換を企てるのだが、軽バン&軽トラの狭い車内にピッタリなのが、ブリッドのコンフォートスポーツシート。その恩恵を十分に実感できるのがN-VANだ。助手席がダイブダウンして長尺モノを積めるのが最大の利点のN-VANだが、助手席シートは、スライドどころかリクライニングもしない。長尺モノを積まない人には、最大のメリットが最悪のデメリットとなるのだ。その点は、専用のシートレールを装着することで解消。運転席より助手席を前方にオフセットすることで、セカンドシートのダイブダウン機能を損なうこともない。チョイスしたシートは、ベストセラー品の「ユーロスターⅡ・クルーズ」。疲労を軽減させるため座面を厚くしており、着座位置こそ高めになるが、N-VANは軽バン特有のシート下にエンジンがないため問題ナシ。室内幅も軽バンにしては意外と広いので、ショルダーサポートが干渉することもない。形状は身体を包み込むように設計されており、長時間・長距離運転に適したモデルだ。ほかにもショルダー幅を抑え、薄くてフラットな座面形状の「エルゴスター」、低めの着座位置と張り出しなどのシート幅を抑えた「ディーゴⅢライツ・クルーズ」が、軽バン&軽トラに最適なコンフォートスポーツシートといえる。これで軽バン&軽トラライフが100倍楽しくなること間違いナシ!!

アツと驚く大変身! なりきりまSHOW TIME

破天荒カスタムも成熟された大人なカスタムも大好きな本誌が贈る軽バン軽トラカスタム第一の巻は“なりきり”がテーマ。学生ビルダーによる勢いとアイデアが詰まったワイルドカスタムから、バツと見ノーマル、されどベースカー選び、コンセプトで勝負したミラバン、最後はファニールックに思わず笑顔あふれるキャリイトラックの3つの作品をお届けだ!

PHOTO/佐藤亮太 TEXT/佐藤アキオ(rsf)

>>日野レンジャー
(HINO500 Series)



元ネタは'20~'21年にダカールラリーに参戦した日野レンジャー。日本国外では500シリーズの名前で販売されていたモデルだ。「なんで最新モデルにできなかったの?」との疑問もあるが、実は'22年からメインで走る600シリーズは、ボンネットありの形状になってしまうから。それをコピろうとするとジムニーだけで完了して、キャリイのキャビン載せるという壮大な計画がオジャンになっちゃうため、あえてちょい古な500シリーズをお手本にしたそう。NATSと日野自動車は交流があり、今回もパーツの協賛、データの貸し出し、さらにドライバーの菅原選手からのコメントもいただけたりと、生徒たちのバックアップをしてくれたそーです!

これがこう!
面影皆無の仰天フェイスリフト



キャビンのベースとなったキャリイの顔は、フロントパネルの中段あたりにヘッドライト、バンパーにウインカーという配置になっている。それをフロントパネルに大型グリル、バンパー内にヘッドライトがつくレンジャー顔にするのは、腕に覚えのあるNATSカスタマイズ科の生徒でもかなりの苦勞したそう。フロントパネルはワンオフ、グリルは日野デュトロ純正品の両ハジをカットして装着、バンパーは鉄板から作ったワンオフ品に、デイライトの形状が似ていたハイセット用REIZ流量バージョンLEDヘッドライトを組み込んでフィニッシュ!

- ベースカー/ジムニー(JA11型) 1995年型+キャリイ(DC51T) 1995年型
- 協力/日本自動車大学校 ☎0476-73-5507 www.nats.ac.jp
- Special Thanks/トーヨータイヤ、ブリッド、MOTUL、南関東日野自動車、千葉スズキ販売、トランスウェブ、新光重機、YAHAGI INDUSTRY、ピボット、ナルディ、クリムソン、モーターファーム

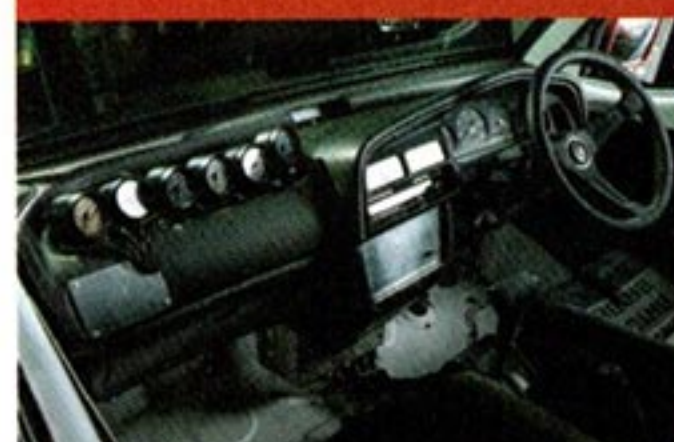
「何を作るか?」の発想力と「どう作るか?」の技術力。カスタムな1台を作り上げるのに、この2つはかなり重要な要素だ。で、千葉の日本自動車大学校(以下NATS)の学生たちが東京オートサロンに向けて作っているクルマは、毎度毎度ヤベ〜くらいに発想力がブチ抜けているのなんのって! そりゃあハタチ前後の、自動車業界のしがらみなんてこれっぽっちもないメンバーが集まってんだもの。「アレにはコレ」、「ソレにはドレ」みたいな業界のセオリーとか売り上げなんてものを一切ガン無視。「いんじやね?」&「やっちゃまえー!」的なノリとイキオイと馬力とトルクが、ダダ漏れMAXなのですヨ。

以上の歴史と伝統は学校創立37年目を迎えた2025年も相変わらずで、今回ぶっかましてくれたのは、「JA11ジムニー+DC51Tキャリイ」日野レンジャー・ダカールラリー仕様」の公式だ。これは生徒たちの「大型トラックも自動車の仲間なのに、オートサロンに参加しない」「大型トラックをカスタムしたらインパクトあるかも?」「デコトラのネタはよく使われているんで、違うアプローチがしたい」「だったらダカールラリーのレンジャー!」なんて柔軟発想の連続トークから答えを導き出したもの。

作業に関しては'20~'21年にダカールラリーに挑戦した日野レンジャーの軽自動車版を目指し、フロントマスク、荷台、シャシーの3班分業体制で進められた。NATSのカスタマイズ科で1年みっちり勉強した鉄金などのテクを生かしてコピったマスクと、厚さ1mmのアルミ板を10枚と2mmの鉄板を貼り合わせた荷台を眺めると、技術力方面もノープロブレム! 実車を見たダカールラリーの日野チームドライバー・菅原選手が「一緒に走りたい!」って言ったのが、お世辞じゃないほどの再現力を誇るのだった☆

NATS MINIRANGER

世界にその名を轟かすダカールラリー参戦車を軽商用車×2コイチでクリエイト



こちらは内装。ブリッドのジータフルバケットシート、ナルディのφ350mmステアリング、ピボットのGTゲージ60（ブースト、油圧、油温、水温、電圧、タコ）らがズラッと並び。インパネはキャリイのパーツを使ったが、オートマはエンジン同様JA11ジムニーからの流用だ。



モノコック構造となるキャリイのキャビンに強度を持たせて車検をパスする！ そのための作戦としてガラスごとリアパネルを取り去り、×字型の補強を入れた特製パネルとチェーンジッ！



モノコックぶった切りキャビンは抜かりなく補強済み

キャビン後方のシェルはメタル&FRPでクリエイト



元ネタ再現度を高める前後リーフもJA11を選んだ決め手なり！



モーターファームのリーフタイプS足回りキットは、リーフスプリングとショックのほかにブレーキホースの延長キットやパンブラバーも含む即戦力のアイテムだ。マフラーも同社の製品で、低、中域から高回転域までカバーするマッドスターに交換済み！



武骨アルミを厚塗り化粧で鉄ちんぽく♡



キャリイトラックのフロアとジムニーのフレームの間を繋ぐマウントは、一番長いもので全長400mmもありました！ これでクイッと荷台を担ぎ上げて、ダカールレンジャー化けに万全を期すのだ。

レンジャーらしさを高めてくれる荷台のハコ。30mm角の鉄パイプで骨組みしたあと、上側に1mm厚のアルミ板を6枚、下側に2mm厚の鉄板を4枚貼って作られている。下側を鉄板にしたのは、重心を下げるためだったとか。最後に内側を青のプラ板とアルミと鍍銅板で飾れば、もはやダカールクオリティ♡



製作に関わったメンバー勢ぞろいのお写真がないことはご容赦を。左から成嶋友樹サン、鈴木虎太郎班長、橋爪飛龍サン、後列が深沢知義先生、浅野優太副班長、秋葉友翔サン、鈴木敬太サン。以上のほかにも小原澤来紅サン、中村来寿サン、丸島康寛サン、船田純也サン、平山友翔サン、内山雅崇サン、今関剛也サン、森 虹太サン、鈴木海斗サンの計15名の汗と涙の結晶がこのミニレンジャーなのだ。

オフロードの帝王の足回りを手に入れ悪路もへっちゃら！！



前後のサス関係パーツは、大阪のモーターファームさんから協賛いただきました♡ レンジャーと同じ4リーフサスを使っているJA11ジムニーをベースに選んだことから、同社のリーフタイプS足回りキットを使い、約3インチのリフトアップを可能にした（スタビリンクのブロックのみ他社製）。また、スロットルパーツとの干渉を避けるべく、急速フレームとキャビンの間に長さ80mmの角パイプをかませた跡の生々しさが、現場の苦勞を物語る……。



メインカラーの赤と白はペイントで、スポンサーのデカールはカッティングシートで再現す。セッケンの72は、NATS（ナツ）を数字化したものだ。そのほかDA51T用オプションドアミラー、モーターファーム製JB64用LEDテールにて砂漠に突っ込む準備は整った！

オリジナル顔負けの走破性能はジムニーフレーム&ボディリフトで再現！

外観からは判別不能な、中身の具についても解説していこう。フレーム、動力系、駆動系、制動系なんかは、JA11ジムニーのソレをそのまま使用している。新型のJB64とか入手しやすいJB23じゃなくて、あえてJA11をベースにしたのは、「レンジャーと同じ4輪リーフスプリングサス」って理由からだそう。そんなサスを持ち上げるのは、モーターファーム製のリーフタイプS足回りキット。装着するだけで約3インチのアップとタフな走破性が得られるアイテムだ。コンピを組むタイヤ&ホイールには、オープンカントリーとディーン・コロラドの豪華セットを選択。このへんのデザインやカラーリングも、ダカールレンジャーをかなり意識してるよね。かぶせるキャリイのキャビンはモノコックなんで、ガラスごとリアパネルを取り外し、×字型の補強を入れた特製パネルと交換済みだ。なんでこんなマネをするかってゆーと、NATSが作る車両は、車検取得を前提にしているから。こちらプロの整備士を養成する学校の学生だもの、公道を走れないハリボテのクルマを作っただけじゃあエクスタシーを感じないカラダに生まれ変わっているのだ。ところがここで、緊急事態が発生！

以上の状態のジムニー・シャシーにキャリイのキャビンをかぶせたところ、エンジン上部にあるスロットル関係の部品に直撃しちまったあゝ!! なので、80mmのカサ増しマウントをぶっ込んで部品との干渉を避けたものの、おかげで全高が2mを突破。軽自動車の規格内に収まらなくなっちゃったトコは、温かい目で見てやってください(汗)。

とはいえ、ジムニー+キャリイのレンジャー仕様様が賞賛に値する快挙であることに変わりなし。さすがはNATS、いい人材を育ててくれますなっ！！